

復興計画策定の推進による強靱化施策の充実化

自治体名
北海道むかわ町
人口(R5.11.30現在)
7,352人

取組のキーワード

■ 事前復興

■ 北海道胆振東部地震の教訓

■ 専門家会議

地域計画の履歴

令和3年7月 策定
令和5年3月 改定

取組のカテゴリ

想定災害	地震災害	津波災害	
取組主体	行政職員	有識者（学識経験者等）	
施策分野	行政機能	リスクコミュニケーション	人材育成

活用した国の交付金等

都市防災総合推進事業（国費1／3）

取組の概要・ポイント

取組と脆弱性の関係

- ✓ 東日本大震災では、自治体が防災・減災の取組を積極的に実施していたにもかかわらず、応急対応に追われ、復興に向けた取組には順調に着手できなかったと言われており、むかわ町も平成30年北海道胆振東部地震において同様の経験をした。
- ✓ 北海道が公表した大規模地震の被害想定を受けて、令和5年3月の地域計画改定時に「むかわ町事前復興計画」の策定の着手を決定し、復旧・復興への課題整理、事業手法等の検討を進め、事前復興の取組を地域の強靱化に向けた重点施策として位置付ける方針。

何を実施することにしたか

- ✓ 強靱化施策として「むかわ町事前復興計画」を策定し、以下を目標とする。
 - ・ 発災前から復旧・復興に係る業務・手順・体制をあらかじめ描き、実施・実現すべき取組や事業を設定することで、発災後も町民が安心して住み続けられるまちづくりを進める
 - ・ 平時から行政だけでなく町民や事業者が被災後の復興に向けたまちづくりの在り方を共有でき、各主体が自分事と考えることで継続的な取組を可能とする

取組の推進状況

- ✓ 庁内に合同事務局（防災・まちづくり・建設）を設置。職員の復興訓練も兼ねた検討組織である「計画策定先導チーム」に若手～中堅職員を任命し、計画策定を推進中。
- ✓ 事務局のシンクタンクとして有識者（学識経験者）による専門家会議を設置し、専門的知見を得ている。

1 取組を実施するきっかけとなった背景や課題

- 平成30年北海道胆振東部地震の教訓から、むかわ町ではいざという時の備えを固めるよう「事前復興」の取組の重要性を認識。
※むかわ町でも死者1名・重傷者27名、建物全壊40棟・半壊186棟等の被害あり
- そこで、『防災を起点にした防災対策先導のまち』として、「事前復興」と未来に向けた「創造的復興・創生」を両輪としたまちづくりの推進を表明（令和4年3月施政方針）。
- また、北海道が令和4年7月及び同年12月に公表した「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による被害想定」に基づき、むかわ町が当該地震の特別強化地域に指定されたことも受け、むかわ町における被害想定を具体化し、被害状況や被災後の地域の課題を明らかにする必要性が生じた。
- これらを踏まえ、事前復興計画の策定を推進することとした。

2 取組の内容

- 事前復興計画は、復興の基本方針及び復旧・復興に係る業務・手順・体制など、復興に向けたまちづくりに関することを平時から町民・事業者・行政で共有するための計画として位置付けた。
- 事前復興計画を策定するため、内容の検討を進めるに当たり4名の有識者（学識経験者）を道内から招聘し、専門家会議を発足。同会議を定期的に開催するほか、必要に応じ、その他の有識者への個別ヒアリングも実施することを予定している。

氏名	職名	所属
高橋 浩晃	教授	北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
高橋 清	教授	北見工業大学地域未来デザイン工学科社会インフラ工学コース
下夕村 光弘	教授	苫小牧工業高等専門学校創造工学科都市・環境系
石井 旭	教授	北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所

- 計画骨子の検討のほか、事前復興計画理解促進のための研修・勉強会等の企画や各種会議等への報告資料、町民への広報に対する手法等についても町職員と一体となって検討を進めている。

広報誌で周知した施政方針・基本政策等



3期目に就任した竹中喜之町長は、令和4年第2回むかわ町議定例会において、今後4年間(令和4~7年度)の施政方針を表明しました。この方針に掲げる6つの基本政策に基づき、町民・事業者・行政が丸となって「耕そう!「むかわの底力」でわたしたちの未来へつなぐ」を基本姿勢として、これまで培ってきた多様な「つながり」を活かしながら、「共創」共に創るまちづくり」を着実に進めてまいります。

また、コロナ対策を最優先に取り組み、「防災を起点にした防災対策先導のまち」として、いざという時の備えを固めるよう「事前復興」と、未来に向けた「創造的復興・創生」を両輪としたまちづくりを推進してまいります。詳しくは別冊にてご覧ください。

- | | | |
|---------------------------------|---|--|
| <p>基本政策
1</p> | <p>ふせぐ
ポストコロナを見据え、コロナ禍を克服するまちづくり
【主な施策】 新型コロナウイルスほか各種感染症対策 等</p> | |
| <p>基本政策
2</p> | <p>くらす
子育てしやすく、健康で安心して暮らすまちづくり
【主な施策】 妊産婦・子育て・高齢者支援、健康づくり・地域医療体制の充実、子育て応援基金の創設、保育人材支援一時交付事業、住宅リフォーム助成、子育て世代の住宅取得支援、民間賃貸住宅の建設助成 等</p> | |
| <p>基本政策
3</p> | <p>まもる
災害に強く、安全で美しいまちづくり
【主な施策】 胆振東部地震からの復旧・復興、国土強靱化、各種インフラ整備、事前復興計画の策定、日本海溝・千島海溝沖巨大津波対策、ゼロカーボン北海道の実現、ゼロカーボンシティ宣言、脱炭素社会推進基金の設置 等</p> | |
| <p>基本政策
4</p> | <p>はたらく
産業とまちに活力があり、笑顔を広げるまちづくり
【主な施策】 農林水産商工業振興、森林環境譲与税の活用、水田活用直接支払交付金制度の見直し対応、まちなか再生、まちなか基本計画に基づく各種事業展開 等</p> | |
| <p>基本政策
5</p> | <p>まなぶ
学びを通して、多様な人材を育てるまちづくり
【主な施策】 むかわらしさを活かした特色ある教育(むかわ学)、コロナ禍における学習環境整備、アフターGIGA 等</p> | |
| <p>基本政策
6</p> | <p>つなぐ
様々なつながりを活かし、輝く未来をつくるまちづくり
【主な施策】 恐竜ワールド構想の推進、関係人口の創出・拡大、地域課題解決・未来志向型の博物館再整備、地域商社との連携、かわまちづくり計画の策定、合併20周年記念事業 等</p> | |

3 取組と地域計画の関係

【地域計画における記載】

起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）

- ・災害廃棄物の処理の停滞などによる復旧・復興の大幅な遅れ
 - ・復旧・復興などを担う人材の絶対的不足
- ⇒令和3年7月の策定当初から設定

強靱化のための施策プログラム※

(5) 迅速な復旧・復興など 等

※むかわ町における強靱化施策の取組方針

令和5年3月の地域計画改定に際しては、事前復興計画の策定を通じて（事前復興の観点から）強靱化施策の取組方針を改めて見直し、その充実化を図ることを明示

4 周囲の声（庁内職員・住民・企業）

- 北海道胆振東部地震対応時の課題や苦労した点を再認識するだけでなく、他の部署や職種の視点からの意見も知ることができてよかった。（庁内職員）
- 災害時の事前に確認すべきことが点検できた。（庁内職員）
- 通常業務を行いながらの復旧・復興業務を行う大変さは、北海道胆振東部地震を経験していない職員にも共有したい。（庁内職員）

5 今後の展開予定

- 令和6年度中の事前復興計画の策定と並行して、計画を実効性あるものとするために事前復興に必要な各種施策・事業を地域計画にも明記していく方針である。